

感染状況・医療提供体制の分析(10月6日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月29日時点)	現在の数値 (10月6日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	69人 (3.6人)	68人 (3.6人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり3.6人</u>と不変も、60歳以上の割合は増加。感染が下げ止まりの傾向がみられる。まん延防止等重点措置は9/30に解除されたが、緊急事態宣言や措置を意味あるものにするため、ワクチン接種や接種完了後の感染対策を含め、現在の感染対策を継続する必要がある。<u>感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	15人 (22%)	23人 (34%)	↗	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	25人	31人	↗	
		県南西部	35人	31人	↘	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	27人	17人	
割合 (③/①)			39%	25%	↘	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	38人 (7%)	28人 (5%)	↘	<p>総括コメント</p> <p>レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる</p>	
	⑤宿泊療養者数	42人	25人	↘	入院患者数、宿泊療養者数ともに減少し、通常の医療が提供できている。	
	⑥自宅療養者数	25人	26人	→		
	⑦重症者数	3人	1人	↘		